

令和 7 年度 豊田市立末野原中学校 学校経営方針

1 教育目標 【校訓】和し 鍛え 学ぶ

(1) 本校の教育目標

【末野原中 目指す生徒】

- 互いに認め合う生徒（共生）
- 互いに高め合う生徒（創造）
- 自分づくりができる生徒（自立）

- ・思いやりの精神と礼儀正しさを重んじ、互いの違いを尊重しながら望ましい人間関係を築く生徒の育成
- ・切磋琢磨し、集団の中でともに伸びる生徒の育成
- ・行動に責任をもち、正しい判断で行動する生徒の育成

(2) 経営方針 令和 7 年度末野原中学校スローガン「改善・前進」

【教職員】 一人一人が教育者としての自覚をもち、常に課題意識をもって授業改善・指導力向上に努める。目の前の生徒たちの成長を願い、教職員が丸となって教育活動を推進する。

【生徒】 生徒一人一人が目標と夢をもち、より良い自分に成長できるよう日々の取組を大切にする。授業や行事を通して力をつけ、卒業後の自立（精神的自立）や進路実現をめざして努力する。

【仲間・集団】 それぞれの学年が今まで培ってきた経験を土台とし、誇りと愛着がもてる学年・学級に成長できるよう日々の活動に協力して取り組む。

(3) 本年度の重点努力目標（働き方改革にかかる業務改善を含む）

ア 自ら学ぶ生徒の育成と学力向上

- ◆習得と活用を意識した授業展開や家庭学習との相乗効果によって学力向上を図る。
- ◆授業において魅力ある導入や深める場を工夫し、生徒自身が「〇〇したくなる」授業をめざす。
- ◆目標の明確化と振り返りで、生徒自身が「できた、わかった」と実感できる授業を行う。
- ◆学習用タブレットを活用し、個別最適な学び（Qubena）や協働的な学びを推進する。
- ◆主体的対話的で深い学びの実現に向けて、生徒同士が関わる授業展開を工夫する。



イ 心の教育と不登校対応

- ◆授業や学級活動等においてそれぞれの子の良さが発揮でき自己有用感が得られる場を意図的に設ける。
- ◆3年間を見通した進路指導とキャリア教育の充実で、自分の生き方を考えて努力する生徒を育てる。
- ◆生徒が自立に向けて踏み出せるように、家庭との連携を図り、生徒に温かく寄り添った支援を行う。
- ◆保健指導と学級指導の連携を図り、望ましい生活について生徒の意識を高める。
- ◆校内はあとラウンジ、SC、心の相談員、パルクとよた等と連携を図って対応する。

ウ 感動あふれる行事

- ◆行事で育てたい力を明確にし、学校全体・学年全体で「育てたい生徒の姿」を共有して指導にあたる。
- ◆生徒たちが自主的に動ける体制を作り、達成感を得られるよう支援し、成功体験を積ませる。
- ◆事前や事後の指導の充実を図り、計画的・意図的な取組を行う。

エ 地域や家庭との連携

- ◆地域学校共働本部を中心に、地域や他団体等とのつながりを大切にし、積極的に連携を図る。
- ◆保護者への共感的理解に努め、ともに生徒を支援する姿勢を大切にする。
- ◆生徒指導の諸問題に対して、問題が小さいうちに迅速・慎重・丁寧に対応する。
- ◆問題が起きた時は役職者や学年主任、生徒指導主事への報連相を迅速・確実に行う。
- ◆地域への発信（HP, たり）地域行事への生徒参加等を通して、地域に愛される学校づくりに努める。

オ 働き方改革にかかわる業務改善と教職員の健康

- ◆部活動の地域移行に向けて、市教委、関係諸機関、地域学校共働本部と連携して準備を進める。
- ◆年間計画や日課の見直し、会議の精選、校務のDX化等によって職員の在校時間短縮を図る。
- ◆校内衛生委員会の定期的な開催、適切な勤務の割り振り、定時退校の取組等を引き続き行う。